

令和2年4月15日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題： 関節リウマチ患者のサルコペニアの診断における、骨格筋超音波検査の有用性の検討

代表施設研究責任者： 公文義雄

研究の背景： サルコペニアは加齢と関係して骨格筋の量および質の低下を生じ、ADLおよびQOLに大きな影響を与える疾患です。関節リウマチは様々な理由でサルコペニアを合併しやすいといわれています。また、関節リウマチにおけるステロイドの使用は肥満を促進することで、両者の合併（sarcopenic obesity）を引き起こすことが知られています。一方、骨格筋超音波検査は神経筋疾患において針筋電図などの従来の検査を補完するものとして広く行われており、サルコペニアにおいても骨格筋超音波の有用性の検討がなされています。筋内の脂肪浸潤や線維化の程度が簡便に評価できる超音波検査はサルコペニアの診断のみならず病態の評価にも有用であることが期待されています。

研究の目的： 本研究では、我々はサルコペニアを合併する関節リウマチ患者の超音波所見を評価することで、サルコペニアの診断およびサルコペニアを生じる病態の多様性の評価において超音波検査が有用であるのかを検討することを目的とする。

研究方法： 近森病院内科を通院中の関節リウマチ患者さんが対象です。研究にご協力いただいた個人が特定されるような情報は完全に匿名化され、厳重に保護され、外部に出ることはありません。ご協力によって得られた研究成果は、提供者本人の氏名やプライバシーが明らかにならないようにしたうえで、学会や学術雑誌およびデータベース上で発表されることがあります。研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、担当研究者もしくは外来担当医師までお申しつけください。

\*本研究の対象になられる方で、ご自身のデータ利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでに学会誌やデータベースへ発表された内容については、取り下げることは原則困難となります。

問い合わせ先：

近森病院

担当者： リウマチ膠原病内科 吉田剛

住所 〒7808522 高知県高知市大川筋 1-1-16

電話 088-822-5231